

十三六

爵

立案明治
年 月 日
決裁明治

爵位部長 兼 知

爵位重事 勅 務

明治
年 月 日
呈報
八月 月 日
官報
第 号

大臣 熊

内事課長 久 波
内事課次長

次官

胡 角 倉 了 以 中 一 名 贈 任 一 件

官 内 省

めくられず

裏面白紙

135



故 角 倉 了 以
 故 奧 八 兵 衛
 特 旨 ヲ 以 テ 位 記 ヲ 贈 ラ ル
 故 角 倉 了 以
 故 奧 八 兵 衛
 贈 正 五 位

内閣

右 謹 々 奏 ス
 明治四十年五月二十日
 内閣總理大臣侯爵西園寺公望 望

明治四十年五月 日

内閣書記官

内閣總理大臣 望

内閣書記官長

京都

角倉了以

右ハ平素心ヲ公益ニ存シ治水ノ業尤利
ヲ後世ニ遺ス慶長十一年山城國嵯峨
ヨリ丹波國保津ニ至ル水路開鑿ノ工ヲ起
シ其業ヲ竣ルハ及レテ舟楫ノ便ヲ得テ穀

内閣

塩木石ノ漕運ヲシテ自由ナラシメ翌年富
士川ヲ浚鑿シ甲斐駿河兩國ノ水運ヲ
通スルヲ得又同十六年高瀬川ヲ作り山城
國伏見ヨリ京都ニ條街ニ達シ水運ノ便
ヲ開ク了以開鑿ノ三川ハ今日迄シテ
二百有餘年猶其利ヲ享タルコトヲ得其
功勞歎カラス因テ特ニ舊功ヲ録セラレ正五
位贈敘ノ榮典ヲ賜ハリ然ルヘキ哉

京都魚高

奥 八兵衛

右ハ平素尊王ノ志深ク常ニ供御ノ鮮ヲ
調進スルヲ以テ禁内ニ出入ス後光明帝ノ
崩御ニ給フヤ朝議故典ニ據リ將サニ火葬
セントス八兵衛之ヲ聞キ大ニ慟哭シテ曰ク
大行天皇ハ曾テ佛法ヲ信シ給ハス今マ火
葬ヲ行フハ聖意ニ違フナリト是ニ於テ
八兵衛ハ開白ノ即ニ趨詣シ火葬ヲ止メ
ンコトヲ建言シ號泣數日ニ互ル朝議遂ニ
其建言ヲ採納ス是ヨリ以後大喪復テ火
葬ヲ用井ス持統帝已降テ有餘年ノ
弊習ヲ一朝洗剔シ得タルハ實ニ八兵衛
ノ力ナリ因テ特ニ奮功ヲ録セラシ正五位
贈敘ノ榮典ヲ賜ハリ然ルヘキ哉

内閣